

事業所における自己評価結果

令和元年度の放課後等デイサービス自己評価を行いました。保護者様からいただいた貴重なご意見と自己評価をすり合わせた結果を公表いたします。
 ご多忙の中、保護者様にはアンケートにご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。
 今後もサービスの向上に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・仕切っている部屋は、一つひとつのエリアが狭く感じるかもしれませんが、障がい特性を考慮しています。 ・大人の事業と併設していますので、利用できる時間・場所を活用して活動しています。 ・活動の様子はいつでも見学可能ですので、ご連絡ください。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・指定基準以上の人員を配置しています。 ・療育内容に満足していただけるよう、さらに努力していきたいと考えています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・室内に段差がありますが、段差解消の必要性が発生した場合は対応をしたいと思っています。 ・室内の構造化、視覚的な手がかり、スケジュールの個別化等の配慮を行っています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・応用行動分析を意識して話し合いをするようにし、次の支援機会に活かすように努めています。 ・集団活動については、支援の振り返りが不十分でした。意識して取り組んでいくようにいたします。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度いただいたご意見を反映させたいと思っています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて公表することになっています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、検討していきたいと思えます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に積極的に参加しています。 ・事業所内においては、ケース検討する中で支援の質の向上が図れるようにしていきます。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様には、年度末にニーズ表をお配りし、記入をお願いしています。 ・お子様の様子については、保護者様との連絡帳でのやりとりや聞き取りを計画作成に反映させています。 ・必要時には、関係機関へも聞き取りを行うようにしていきます。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階がわかる検査について、医療機関等の結果があるお子様に関しては確認しています。標準化された発達段階の指標を活用しアセスメントするように努めていきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇等については、児童発達支援管理責任者が立案しています。他の職員が立案したりお子様方の話し合いの結果を取り入れたりして、お子様が楽しめる内容になるようさらに工夫をしています。 ・その他の日の立案は、支援者が交代で行っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動は固定化しないようにしていますが、落ち着いて過ごすことが目標になる時は固定にする場合があります。 ・集団活動の内容を変化させ工夫をしています。同じ活動でも、目的や役割分担等を変えて療育を行うようにし、お子様が楽しんで参加できるように工夫をしています。 ・システムをルーティン化しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇日等は、事業所外への外出機会を設けたり活動の時間設定を変えたりして、平日にはできないことに取り組むように工夫をしています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動における目標設定のお子様があります。将来の目標を見据えていることを保護者様にお伝えし、ご理解いただけるようにしていきます。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・その日のスケジュール担当を中心に、支援がスムーズに提供できるように打ち合わせをしています。 ・集団活動については、支援が適切にできるように内容を検討して実施するようにしています。

適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の振り返りについて、内容をさらに意識して行う必要性を感じました。打ち合わせ内容と合わせて振り返りを実施していきます。 ・その日以降も必要となってくる情報については、いつでも共有できるように更に工夫していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援者が記録を振り返る機会を設け、記録することへの意識を高めていきます。 ・保護者様との連絡帳については、必要時にはコピーをとり支援へ反映するようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・おおよそ6ヶ月に1回会議を行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・新規の支援者への周知ができていませんでした。今後、新規の支援者指導時にはガイドラインについての説明も行っていきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が参画していますが、担当支援者も参加するように努め、お子様のためのより良い会議になるようにしていきます。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様がスムーズに利用できるように、デイサービス専用の携帯番号をお知らせしています。 ・支援者の顔がわかるように、学校に事業所紹介のプリントを配布しています。今後、毎月の通信を配布することも検討していきます。 ・毎週時間割のFAXを送信していただき、ご協力いただいている学校もあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には、連携を図る予定です。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、就学する前に、保育所での様子を見学させていただいたのは1件でした。必要時には、お子様の支援について直接または相談支援事業所を介して相談し、適切な支援方法を探っていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて提供していきます。 ・会議等開催される時は、積極的に参加するようにしていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援が難しいお子様や専門性の高い支援については、1次・2次圏域へ相談し、助言をいただくようになっています。 ・今年度は、ケース会議や他事業所と連携する中で専門機関からの助言をいただきました。来年度は事業所が要請しているケースは1件ですが、必要時には随時支援を受けていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所からの発信で交流の場を企画することはありませんが、お声かけいただくことがあります。お子様一人ひとりの特性や目的に応じて、機会の設け方を工夫を行っています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・協議会で行われる研修には、可能な人数で参加しました。今後も積極的に参加し、他事業所と情報交換・共有、地域の課題等の把握に努めてまいります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様、お子様の困り感を把握した上で共通理解が深まるよう、今後も伝え方を工夫していきます。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の様子とご家族の対応を、原因と結果を明確にしながら確認しています。ご家庭で取り組みできるものを提案できるよう、引き続き努力してまいります。 ・近隣で行われる研修会があればお知らせするようにしていきます。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ご契約時に説明しています。 ・ご質問等にもいつでもお答えするようにしていますので、お気軽におたずねください。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・主に連絡帳や電話、送迎時にお答えしております。 ・どのような方法が解決策になるのかは取り組んでみなければわからないところがありますので、現状や取り組んでみての状況を伺い、考えられる提案を具体的な表現でお伝えしていくようにしていきます。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設が行うイベントへのお誘いをし、大人の事業の保護者様との交流もできるようにしています。 ・保護者会は設立されていません。保護者会等も未実施ですので保護者様が集う会を検討していきます。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者様からのご指摘に対し、内容の受け取り方に違いがないように心がけていきます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月、会報にて大人の事業と合同で活動の様子等を報告させていただいております。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いには十分注意するよう徹底してまいります。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・その時々で正しくお伝えできる方法、また受け取る方法をとるようにしていきます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域の方々にお力添えしていただき、毎年夏のお祭りを開催しています。地域にお住まいの方へ、広報等でお祭り実施の告知をしています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・不十分なマニュアルがあり、見直し中です。また、必要と思われるものについては購入予定にしております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回、児童と大人の方合同で避難訓練を実施しています。 ・災害時の避難場所は、腹赤小学校(地震時)、こどもの海保育所(水害時、土砂災害時)としています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修に参加した支援者が、会議で内容発信するようにしています。また、新聞記事等を閲覧し内容を話し合うことで虐待行為への意識を高め、支援者の支援内容を改善するようにしています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束は行っておりません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者様にアレルギー症状の確認を行っております。医師の指示書がある場合は、事業所への提出をお願いするようにします。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット、事故報告集の作成をし、いつでも確認できるようにしています。